



岡山発“世界標準の紅茶”

株式会社 アーリーモーニング（岡山県新見市大佐小阪部2239-8）
TEL：0867-98-3939 / URL：https://www.earlymorning.co.jp/

令和8年1月22日現在



経営概要

経営面積	茶園（成園）2ha（10,000本植栽） 収穫量約3トン/年
主な業務	紅茶農園・紅茶専門店（紅茶カフェ経営）
労働力	代表取締役 宮本 英治 従業員3名（繁忙期はパート雇用）
取組の経緯	紅茶で生計を立てようと地方公務員から紅茶専門家の道へトライ。紅茶の勉強のため、まずは土に触れなければとの思いから、インドのダージリン地方と酷似した気象条件の新見市に移住。平成17年から茶樹（ベにふうき）の栽培を始め、令和7年10月に自社の紅茶ブランド「EIJI MIYAMOTO」を商標登録。



取組内容

茶樹栽培の状況	収穫は春から秋にかけて手摘みと機械摘みを併用して行う。（手摘みの茶葉は、ブランドの上位品（No.1からNo.3）に使用）販路拡大に向けて、平成30年度に5,000本の苗を新植し、現在2haの茶園で栽培。
製茶加工	主にインドやスリランカから紅茶製造に必要な機械を導入。製造工程は海外とほぼ同じで、発酵時間等は、手触りや香りなどを入念にチェックし、自らの経験で判断していく。 自社の紅茶ブランドは、No.1からNo.7の7種類あり、茶葉は収穫期の違いにより四季折々の味わいを持ち、世界でも認められる日本産紅茶に仕上がっている。
販売先	天満屋、JR西日本などのほか、インターネットでの販売に加え、近年では、各種企業とコラボしたオリジナル商品を製造・販売する取組が増加。6次産業化発表会で知り合ったバイヤーを通じて東インド会社と繋がり、下、ロンドン各店舗の店長を集めた試飲会では、「ダージリンよりダージリンらしい」と高評価を得た。



今後の展望

- ◆紅茶は世界中で飲まれ、誰もが知っている飲み物であり、ごまかしが効かない。自社の紅茶ブランド「EIJI MIYAMOTO」を“世界標準の紅茶”へ導き、いずれはイギリス大使館での常用紅茶になることが目標。
- ◆地元で愛される紅茶、日本で愛される紅茶、世界で愛される紅茶を目指し、今後も多くの方々に紅茶に興味を持っていただく取組を続けていく。



宮本 英治 氏



「EIJI MIYAMOTO」の紅茶商品



紅茶カフェからの景色